

トニー・レオンとビビアン・スーの
キュートなラブストーリーリー



僕のシンデレラはどこにいる?

君を見つけたの 25時

ワイ(トニー・レオン)は売れっ子CMディレクター。女の子をスターに育てる腕前は一流なのに、仕事をしているうちに恋してしまい、いつも最後には捨てられる。そんなある日、ワイの目の前に現れた美少女アーユー(ビビアン・スー)。不幸な生い立ちをみじんも感じさせない明るく前向きな姿に打たれたワイは、難航していた日本企業向けのイメージガールにアーユーを売り込む。ワイの目に狂いはなかった。アーユーは見事イメージガールに選ばれ、スターへの階段を登りはじめるが、ここに困ったことが…。ワイはまた恋におちてしまったのだ。必死で自制するワイだけど、同僚パトリック(アレックス・フォン)のおせっかいで、なんとアーユーのマネージャーまでやることに。しかも突然、上司のピビアン(エイダ・チョイ)にまで告白されて、事態はますますややこしい方向へ…。果たして、ワイの恋のゆくえは?

原題:每天愛你8小時 (YOUR PLACE OR MINE!) / 1998年香港作品 / 103分 / カラー / ビスタサイズ 提供:ワーナーホームビデオ/配給:クロックワークス / BOB AND PARTNERS CO. LTD. ©1998 COPYRIGHT ALL RIGHTS RESERVED

『恋する惑星』『ブエノスアイレス』で一気にメジャーブレイク、その後も

幅広いジャンルで活躍するスター俳優トニー・レオン。そしてブラックビスケットの歌姫で、4月からCX系ドラマ『セミダブル』のレギュラー出演も決まったスーパーアイドル、ビビアン・スー。このふたりの初顔合わせで、なんともみずみずしいラブストーリーが誕生した。



香港エンターテインメントの巨匠バリー・ウォンと

『君さえいれば』の脚本家が描く等身大の恋人たち

“古惑仔”シリーズのプロデュースで知られるバリー・ウォン。トレンドをいち早くキャッチすることで知られる彼が脚本と監督に抜擢したのは、『君さえいれば/金枝玉葉』の脚本家ジェームズ・ユエン。やはり都市感覚の鋭さに定評のあるユエンは、バイアグラヤリストラなどのタイムリーな言葉を軸に、ユーモアたっぷりに男の本音、女の本音を描いている。これはまさに、香港の今を生きる若者たちのリアルなラブストーリーだ。

これはビビアン・スーの自伝!?



アーユーと同じく、台湾から日本に来てスターになったビビアン・スー。そんな彼女の駆け出しの頃を彷彿とさせる『君を見つけた25時』は、まさに彼女の自伝的内容? ベテラン俳優トニーに支えられ、香港映画の初主演を、のびのびと、フレッシュな魅力で演じきったのも大きな見所。そして心があったかくなるようなラスト。女の子ならみんなアーユーになりたいと思うのでは?

現在のピビアンと重なるような、最後のオチも楽しい。

「情けないけどキュート!」
——まさか、トニーのワリ役!

6/26日(土)~7/9日(金)まで **ホップでロードショー!**

前売特別鑑賞券1,500円発売中!(当日一般1800円の処)

劇場窓口、阪神、阪急、エスト1PG、チケットセゾン、チケットぴあにてお求めください。

キュートな

※劇場窓口のみ
ポストカード(限定)プレゼント!

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

<http://www.cinemabox.com/>

連日 12:20 2:30 4:40 6:50